

令和5年度第2回新潟市男女平等教育推進研究会概要

1 日 時 令和6年1月29日（月） 15:00～16:20

2 会 場 新潟市陸上競技場 第3会議室

3 出席者 ※敬称略

(1) 委員（五十音順）

相庭 和彦	新潟大学大学院教育学研究科	教授
齊藤 綾子	にいがた女性会議	代表
眞田 和徳	新潟市立大江山中学校	校長
高橋 越子	新潟市立桜が丘小学校	教諭
長谷川 瑞	新潟市小中学校PTA連合会	副会長
中村 享香	新潟大学ダイバーシティ推進センター	准教授
林 なおみ	新潟市立中之口東小学校	校長
林 洋一	新潟市立鳥屋野中学校	教諭
本間 智絵	新潟市立女池小学校	教諭

(2) 事務局

本間 浩之	新潟市教育委員会学校支援課	総括指導主事
清野 佳子	新潟市教育委員会学校支援課	指導主事

(3) 傍聴者

なし

4 会議内容

(1) 総括挨拶

- ・ 現「学習資料」が令和6年度末で使用期間を終える。そこで、本日、事務局から「学習資料」改訂案をお示しする。忌憚のないご意見を頂戴し、次年度の検討への契機にしたい。
- ・ 今年度の取組について事務局から報告させていただくとともに、学校現場での指導等について委員の方からお話をいただく。次年度の取組の参考にしたい。

(2) 会長挨拶

- ・ 出生数を見ると、新潟県の児童生徒数は年々減少していくことが分かる。

児童生徒数が減少するということは、社会構造が大きく変わるということでもある。

- ・大きく変化した社会構造の中でも、児童生徒が自分らしさを発揮していけるように、学校で男女平等に関わる基礎的な教育をしっかりと行っていくことが重要となる。そのための「学習資料」を作ることはとても大切な作業となる。事務局から提案される案を委員で十分に検討する時間としたい。

(3) 協議

● 「学習資料」改訂案について

◆ 小学校中学年用

- ・表紙のイラストと登場人物のセリフで、「性別によって、行動などがこうあるべき」という決めつける考え方が隠れているということを提示することはよい。そういう視点をもたせることは大切。
- ・今年度の1年間の中でさえも、男女平等に関することは社会的に大きく変わっている。その中で、「学習資料」はマイナーチェンジではすまないだろう。改訂案の表紙では、現資料のイラストの一部を使っているが、このイラストで「女の人がい物する」「男の人はい物しない」を刷り込んでいる。中学年に「こういう場面があるよね」というのは古い。
- ・「男らしさ」「女らしさ」が最初にある。このことが多様な性を認めている時代と合わない。「あなたらしさ」という個を大切にすることを最初に出して、その後で性別による固定的な意識を取り上げてはどうか。
- ・性別による固定的な意識は、間違いなく社会にある。自分らしさということと固定的な意識とをどの順番で取り上げることが子どもにとって考えやすいか。
- ・表紙にあるイラストについて、「どこがおかしい？」と問うだけで学習が進む。また、大人が「女の子だから」「男の子だから」と言っていることを子どもに言わせて、おかしい点を問うても面白い。また、イラストを性別が分からないようにして、「誰が言っているか」を問うても面白い。

◆ 小学校高学年用

- ・子どもは性別にこだわって互いの趣味や好みを決めつけてはおらず、人それぞれであることを理解していると思う。一方で、昨年度末に事務局が実施したアンケートの集計をみると、「学校で、男子が／女子が期待されていると思うか」では「そう思う」が他の項目に比べて多かった。これはリーダーとして活動することが求められる高学年ならではの傾向かもしれない。男子・女子いずれかにリーダーが偏ったときに、子どもにも教職員にも、「それでいいのか」ということを考える風潮がいま

だにある。そのことを踏まえて、児童会長や応援リーダーなど、子どもに身近な場面を取り上げるとよいかもわからない。

◆中学校用

- ・「自分らしさ」を最初に書かせているが、他の内容（道徳など）と重複していて、活動へ前向きにならないかもしれない。
- ・資料で紹介されている女性の自衛官などは生徒にとって当たり前である。性別で職業選択が狭まっているという捉えはしておらず、馴染まない。
- ・改訂案では、男女共同参画に関わる国の調査結果を取り上げて考えさせている。日本社会の事実を知らせながら、今後どのように生きていくか、生活していくかを生徒に考えさせられて、とても良い。
- ・提示されているデータの内容を見ると、投げ掛けとして「家事や育児は女の仕事？」が良い。

(4) 副会長挨拶

- ・男女共同参画に対する児童生徒の意識は、大人に比べて向上していると思う。教育のたまものであると感じている。
- ・事務局が苦勞して改訂案を作成してくれた。本日は、委員の皆さんから多くの意見をいただいた。ぜひ、事務局で意見を検討していただき、反映した案をもとに、次年度、新しい学習資料を作成していきたい。